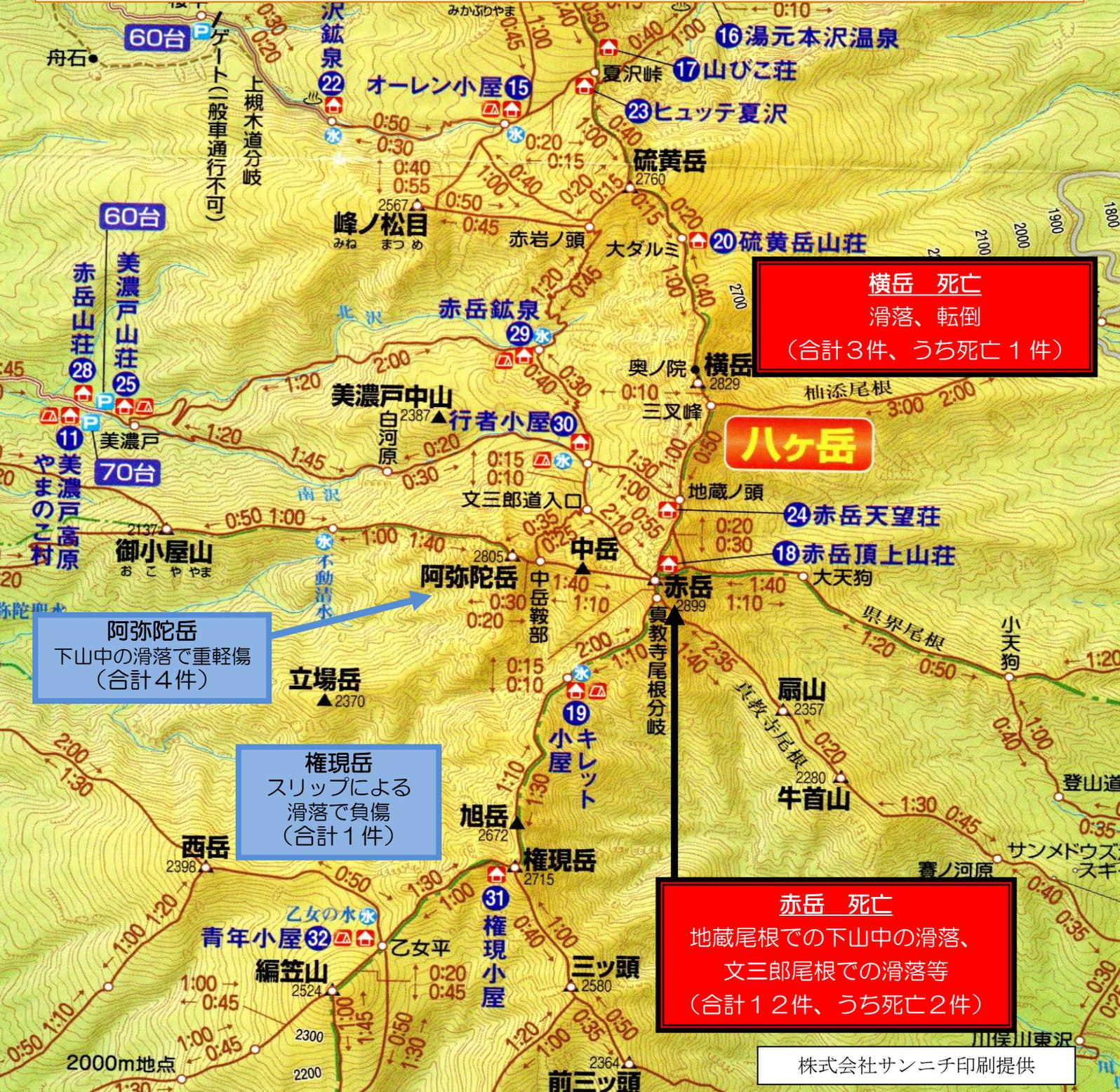


# 平成24年～平成28年の4～6月(春山) における山岳遭難事故発生場所

**<死亡・重傷事故につながる下山中の滑落事故が多発しています!!>**  
**ハヶ岳** 一帯では、5年間で11件の滑落事故が発生し、3件の死亡・3件の重傷事故につながっています。また、滑落事故の多くは下山中に発生しています。

○山岳地帯は冬山とほとんど変わりません。また、低気圧と高気圧が交互に近づくため、天候が短期間、短時間で大きく変化します。

○雪上でのスリップによる転倒、滑落、気温上昇による雪崩、急激な天候変化（気温低下）による道迷い、低体温症、凍傷に注意しましょう。



**横岳 死亡**  
 滑落、転倒  
 (合計3件、うち死亡1件)

## ハヶ岳

**阿弥陀岳**  
 下山中の滑落で重軽傷  
 (合計4件)

**権現岳**  
 スリップによる  
 滑落で負傷  
 (合計1件)

**赤岳 死亡**  
 地藏尾根での下山中の滑落、  
 文三郎尾根での滑落等  
 (合計12件、うち死亡2件)

株式会社サンニチ印刷提供